

富山県富岩運河環水公園整備事業

受賞機関 富山県土木部

はじめに

富岩運河環水公園は、富山駅北と富山港を結ぶ延長5.1kmの富岩運河最上流部に位置し、J R 富山駅北地区における「とやま都市MIRAI計画」のシンボルゾーンとして計画した都市公園である。

昭和63年度に事業着手し、計画面積9.7haのうち、現在まで約50%の4.9haを開園している。

また、同時に富岩運河下流部は、港湾環境整備事業を進めており、現在、富山駅から約3km、国の重要文化財に指定された中島閘門まで一体的に散策を楽しむことができる。

事業の概要

事業着手：昭和63年度

計画面積：9.7ha

開園面積：4.9ha

現在までの事業費：約100億円

富岩運河環水公園の基本デザインについては、平成元年に実施したコンペに基づいている。

これまでに、基本デザインに沿って整備された主な施設は次のとおりである。

(1) 泉と滝の広場

背後の都市MIRAI地区の都市部から運河への移行部として、川の最上流部をイメージする落差3.7m



整備された都市MIRAI地区と「泉と滝の広場」



（「天門橋」...展望塔の垂直のイメージ「天」と形が表す「門」から名付けた）

の人工滝、湧水機能をもった直径33.5mの水盤から構成される公園のエントランス施設。

(2) 天門橋

運河の兩岸を連絡し、単に園路の循環機能をもつだけでなく、都市部、立山連邦、隣接する神通川、いたち川等の景色を見渡せるよう兩岸に高さ20.4mの展望塔を有した園路橋。

橋本体部は、橋長58mでセンターブリッジに直線の箱桁、両サイドにアーチ状の桁橋を有した特色ある形状となっている。

事業の特徴

- (1) 昭和10年に開削された土木遺産である富岩運河の歴史を活かし、都市と自然との接点として、調和のとれた新しい都市景観を創造している。
- (2) 隣接する富山市総合体育館や富山県民共生センター、富山勤労者総合福祉センターと外壁の色等を統一するなど地区全体の景観の向上に配慮している。
- (3) 富岩運河環境整備事業、いたち川河川事業、都市計画街路事業等と密接な調整を行い、周辺地区と一体となった整備を総合的に進めている。

受賞賛助会員 川田工業(株)